新装第１版

茅ヶ崎方式 国際英語教本 Book 0

0 zero からスタート 再学習の英語

茅ケ崎方式英語会

後編

はじめに

この教本は、BOOK-0〔前編〕（UNIT 1～20）とおなじく、中学校で一応英語を勉強しながらよくわからなかったり、途中で挫折した人、社会に出てからもう一度英語をやり直したい人のための学習書です。

後編は、前編での学習効果を踏まえて、次の課程であるBOOK-1への橋渡しをはかるものですが、後編から始める人にも配慮して、LISTENING教材の語数、構文などは、やさしいものから徐々にレベルを上げるように構成してあります。

使用する単語は、前編の250語に250語をくわえ合計500語です。また、構文の中心になる「英語の仕組み」の説明も、前編の重要な部分は、繰り返して学習できるようになっています。

英語の学習方法がよくわからない人達のために、巻末に、30年にわたる茅ケ崎方式の実績と、最近の脳科学の進歩等に基づく学習方法が説明してありますので、よく読んで理解してから、学習を始めてください。

２０１２年２月　　著者一同

＊この教本は、BOOK-0〔前編〕とともに、茅ヶ崎方式英語会准協力校CLASS-0の基本教本として使用します。

茅ケ崎方式英語教本 BOOK-0〔後編〕 目次

UNIT-21 与謝野 晶子 ……6
UNIT-22 植村 直己 …… 13
UNIT-23 古今亭 志ん生 …… 18
UNIT-24 杉原 千畝 …… 23
UNIT-25 マハトマ・ガンジー … 28
UNIT-26 澤田 教一 …… 34
UNIT-27 前畑 秀子 …… 41
UNIT-28 北里 柴三郎 …… 47
UNIT-29 ヘレン・ケラー …… 53
UNIT-30 嘉納 治五郎 …… 58
UNIT-31 マリア・カラス …… 63
UNIT-32 大宅 壮一 …… 69
UNIT-33 ビル・ゲイツ …… 75
UNIT-34 安藤 百福 …… 81
UNIT-35 岩城 宏之 …… 86
UNIT-36 津田 梅子 …… 92
UNIT-37 吉岡 弥生 …… 99
UNIT-38 E・ライシャワー …… 105
UNIT-39 新渡戸 稲造…… 111
UNIT-40 キング牧師 …… 117

各 UNIT の組み立て（右ページ→）

英語ひとくちばなし

⑦ ４技能と４泳法 …… 11
⑧ 英語の音声 …… 39
⑨ スペリングと発音…… 68
⑩ 自律的学習の８原則…… 97

PHONICS ルール一覧表 …… 123
人物歴史年表…… 124
不規則動詞一覧表…… 125
日本語訳と解答…… 127
茅ヶ崎方式英語学習システムの使い方…… 159
この教本の構成と使い方…… 161
著者、監修者、英文校閲者、CD 吹き込み者略歴…… 164
WORD LIST …… 165

各 UNIT の組み立て

① LISTENING　（英文の聴き取り）
② QUESTIONS　（LISTENING の内容についての簡単な質問）
③ WORD TEST　（LISTENING に使用されている単語のテスト）
④ 説明　　（単語の説明）
⑤ EXERCISE 1　（LISTENING の英文のチャンクの組み立て）
⑥ EXERCISE 2　（既習の単語と構文を用いた簡単な英文の作成）
⑦ 英語の仕組み　（文法事項などの説明）（下表）
⑧ EXERCISE 3　（⑦ の練習問題）
⑨ PHONICS　　（英語の文字と発音の関係についての説明）
⑩ EXERCISE 4　（⑨ の練習問題）
⑪ 発話練習　　（LISTENING で採り上げた人物についての簡単な対話）

＊ それぞれの学習法については巻末の「この教本の構成と使い方」参照

⑦ 英語の仕組み

前　編

内　容	頁	内　容	頁
品詞	8	接続詞	63
不規則動詞	13	完了形	68
時制	18	命令文	73
疑問文（1）	23	補語（2）	78
補語（1）	30	関係代名詞	84
受動態	35	綴りと発音①	91
疑問文（2）	40	綴りと発音②	97
目的語	46	名詞チャンク	102
現在・進行	51	動詞チャンク	112
疑問文（3）	57	副詞チャンク	117

後　編

内　容	頁	内　容	頁
品詞	9	特殊疑問文	66
主語と述語	16	比較	72
補語と目的語	21	時制	78
受動態	26	関係代名詞	84
5文型	31	複合関係代名詞	89
前置詞	37	関係副詞	95
接続詞	44	関係代名詞省略	102
chunking 1	50	不定詞	108
chunking 2	56	動名詞	114
普通疑問文	61	分詞	120

CD 2

UNIT 21

YOSANO AKIKO

LISTENING（英文の聴き取り） 訳 p128

Yosano Akiko is famous for her poem, "Kimi shinitamou kotonakare". She wrote the poem for her younger brother who was fighting in the Japanese-Russian War. Some people spoke ill of the anti-war poem. To those people, the poet answered, "I only expressed my feeling honestly." Her husband, Yosano Tekkan, was also a poet. In 1911, the couple visited several European countries, including Britain, France and Germany. The tour was very helpful for Akiko as a poet.

QUESTIONS 答 p128

1. この詩は、誰のために書かれたのですか？
2. この詩に対する反響は？
3. 彼女はなんと答えましたか？
4. 彼女と夫は 1911 年に何をしましたか？
5. その結果は？

CD 3 WORD TEST

1. famous
2. poem, poet
3. write
4. fight
5. speak ill of
6. anti-war
7. answer
8. express
9. feeling
10. honestly
11. also
12. visit
13. several
14. including
15. tour
16. helpful

* the Japanese-Russian War

WORD の説明

1. famous : 有名な famous for ～ , ～で有名な Yosano Tekkan is famous for his poem, "Hito o kouru uta". ＜人を恋うる歌 「妻を娶らば才たけて」＞ The Shonan Beach is famous for surfing. Both companies are famous worldwide for their game software. 両社は共にゲームソフトで世界的に有名だ。
2. poem : 詩 poet 詩人 Chinese poem 漢詩 I like to read Akiko's poems. Miyazawa Kenji is a farmer poet. 農民詩人
3. write : 書く 不規則動詞 write wrote written, write a letter (book, diary) Murasaki Shikibu wrote Genji Monogatari 1,000 years ago.
4. fight : 戦う〔名詞〕戦い 不規則動詞 fight fought fought, fighting 戦っている boxers fighting in the ring, American soldiers fighting in Iraq
5. speak ill of ～ : ～のことを悪く言う speak 話す 不規則動詞 speak spoke spoken, Some parents spoke ill of the teacher. ある親達は、その先生のことを悪く言った。 cf. speak well of ～ : ～のことをよく言う、ほめる The teacher always speaks well of students. その教師は、いつも生徒のことをほめる。
6. anti-war : 戦争反対の、反戦の anti- 反 anti-Japanese feeling 反日感情

anti-Giants fans, anti-aging drug 抗老化薬 anti-cancer drug cf. pro- 親～ pro-Japanese feeling 親日感情 pro-American politicians 親米政治家

7. answer : 答える〔名詞〕答え , 返事 Please answer me! 私（の質問）に答えてください！ The husband did not answer her question. 夫は彼女の質問に答えなかった。Q & A = Question and Answer
8. express : 表現する ex 外へ + press 押す〔名詞〕expression 表現 Please express your opinion! 自分の意見を述べてください！ People expressed their anti-government feeling. 人々は、反政府感情を表明した。
9. feeling : 感情〔動詞〕feel national feeling 国民感情 feeling of hunger 空腹感 * フィーリングが合わない
10. honestly : 正直に〔形容詞〕honest 正直な + ly〔副詞語尾〕Express yourself honestly! 正直に言え！ The boy spoke honestly. 少年は正直に話した。George Washington was an honest boy.
11. also : もまた He also is a pro-American politician. His mother also spoke ill of the teacher. Her husband was also a teacher. 彼女の夫も先生だった。
12. visit : 訪問する〔名詞〕訪問 Foreign tourists often visit Kamakura. "Visit Japan"「日本へ行こう」日本政府の観光キャンペーン goodwill visit 親善訪問
13. several : 幾つかの I know several places (that are) good for camping. 私はキャンプに適した場所をいくつか知っている。
14. including : ～を含む～ modern Japanese poets, including Yosano Tekkan and his wife, Akiko 与謝野鉄幹、晶子を含む近代日本の詩人達 Asian countries, including Japan and China, foreign tourists, including Americans
15. tour : 旅行〔発音に注意〕tour company 旅行会社 sightseeing tour 観光旅行 tour guide 観光ガイド tourist 観光客 (The) Emperor Showa toured the United States after the war.
16. helpful : 助けになる help〔名詞〕+ ful〔形容詞語尾〕beauty → beautiful The study tour was helpful for him as a teacher. その見学旅行は、教師としての彼に助けになった。helpful advice (hint) 役に立つ助言（ヒント）

* the Japanese-Russian War 日露戦争（1904 ～ 1905）朝鮮半島と満州南部を主戦場とした日露両帝国の戦争

EXERCISE 1

答 p128

意味が通じるように語順を並べ替えてください。

1. famous, Yosano Akiko, for that poem, is
2. for her younger brother, wrote, she, the poem
3. the anti-war poem, spoke ill of, some people
4. my feeling, honestly, only, expressed, I
5. visited, several European countries, the couple, including France

EXERCISE 2 答 p128

英語にしてください。

1. 宮沢賢治は、農民詩人として有名だ。
2. その女性は、イラクで戦っている夫に手紙を書いた。
3. ある人達は、その農民作家を悪く言った。
4. 先生は、その生徒に「正直に答えなさい」と言った。
5. 大勢の観光客が、中国を含む幾つかのアジアの国々を訪れる。

英語の仕組み ⑲　8 品詞

(See BOOK-0〔前編〕英語の仕組み ① 品詞)

英語の品詞名の太字は略語

1. 事物の名称 (　　) (**n**oun)
2. 名詞の代わりになる語 (　　) (**pron**oun)
3. 名詞を修飾、説明する語 (　　) (**adj**ective)
4. 動作や状態を示す語 (　　) (**v**erb)
5. 動詞や形容詞、他の副詞を修飾する語 (　　) (**adv**erb)
6. 句を先導する語　(See p. 8.) (　　) (**prep**osition)
7. 文、句、語をつなぐ語 (See p. 9.) (　　) (**conj**unction)
8. 叫び声など (　　) (**interj**ection)

＊ 冠詞 (a, the) は、形容詞の役割を果たす。

＊ 数詞 (10, 10th など) は、名詞または形容詞の役割を果たす。

＊ 関係代名詞 (See 英語の仕組み ⑮, ㉜, ㉝)

＊ 関係副詞 (See 英語の仕組み ㉞)

EXERCISE 3 答 p128

[Ⅰ] 上記の 1. ～ 8. の (　) 内に品詞名を書き入れてください。

[Ⅱ] 次の文から、名詞、代名詞、形容詞、動詞、副詞を抜き出して、分類してください。
「与謝野晶子は、明治 11 年、大阪、堺市の和菓子店に生まれた。若い頃から小説や和歌に親しみ、詩人の与謝野鉄幹が創設した「明星」に投稿して頭角を現し、後に彼と結婚した。」

名詞　(　　)
代名詞　(　　)
形容詞　(　　)
動詞　(　　)

副詞　（　　）

[Ⅲ] LISTENINGの英文から、英語の名詞と動詞を３つずつ、代名詞、形容詞、副詞を２つずつ抜き出し、動詞、形容詞、副詞については、どのような役割を果たしているか説明してください。（ 動詞→動作か、状態か。形容詞→修飾か説明か。副詞→動詞、形容詞、他の副詞のいずれを修飾しているか ）

名詞　（　　）（　　）（　　）
動詞　（　　）（　　）（　　）
代名詞　（　　）（　　）
形容詞　（　　）（　　）
副詞　（　　）（　　）

CD 4 PHONICS

ＣＤを聴いて、発音練習をしましょう。

a ＋子音＋ e（e のついた母音）は、前の a だけアルファベット読みして [ei]（エィ）と発音し、子音の後ろの e は読まない。

late　hate　mate　sale　tale　bake

ai ＝ ay（２文字母音 rain 型）は、前の a だけアルファベット読みして [ei]（エィ）と発音し、後ろの母音 i, y は読まない。発音記号では２つの文字で [ei] と表記されるので２つの音をはっきり言ってしまいがちだが、[e] を（エ）と強く言って、余韻として [i]（ィ）と言う。

＊ y は半母音という名で子音に分類されるが、音声的には母音的な性質を持っている。

rain　wait　fail　daily　rail　way　say　May

CD 5 EXERCISE 4 答 p129

ＣＤを聴いて、空所を埋めてください。

1. b □ s □　2. tr □□ n　3. afr □□ d　4. p □□　5. r □ c □

EXERCISE 5 答 p129

発話練習

1. Do you know anything else about Yosano Akiko ?
   Yes, I do. No, I don't.
2. Tell me what you know about her.

英語ひとくちばなし ❼　4技能と4泳法

＜英語ひとくちばなし＞は、英語を学ぶ人達が知っておいて欲しい常識的な事柄を、やさしく解説したものです。

英語の学習と水泳の練習には、共通点が多いように思います。どちらも技能を習得する過程と考えれば、当然のことかもしれません。

6歳の時に川で泳ぎ始め、戦中、戦後の1時期を除いて、50年近く泳いでいますが、我が水泳人生は、はっきりふたつの時期に分かれます。川や海では、前が見えないと危険なので、ほとんど蛙泳ぎでしたが、戦後温水プールが普及して、行って見ると、クロールですいすい泳いでいる人がいて、自分もと思って、スイミング・スクールに入りました。そこで出会ったコーチが、私の水泳人生を変えてくれました。

プールでの水泳には4つの泳法がありますが、基本になるのはクロールです。また、クロールの基盤、つまり、すべての泳ぎの基盤になるのは、クロールのキック、バタ足です。私は、若い頃の柔道の練習で、右足の関節を痛め、その後遺症で、バタ足が他のメンバーのようにうまく出来ませんでした。それで、バタ足の練習が終わった頃もぐりこむことにしていたのですが、いつも冗談ばかり言っているコーチが、ある時、真剣な顔で、「人間は、バタ足で泳げる距離しか、正確には泳げません。バタ足がいやなら、退会してください」と言いました。

それから必死でバタ足の練習に取り組み、1年を過ぎる頃には、バタ足が大好きになっていました。すると、コーチの言うとおり、クロールで泳げる距離もどんどん伸びていきました。それだけでなく、ほとんど出来なかったバタフライでも泳げるようになり、蛙泳ぎも平泳ぎに進化していました。背泳ぎは、クロールの裏返し、バタフライは、両手両足を同時に打つクロール、平泳ぎはバタフライの変形だから、それは当然というのが、コーチの説明でした。

茅ケ崎方式英語学習法を構築するに当たり、英語でクロールに当たるものは何かと考え、LISTENINGだと思い至りました。また、LISTENINGの基盤になるのが、語彙と構文であることにも、改

めて気付きました。LISTENINGの練習は、なかなか進歩が自覚できず、苦しいものですが、一定数の単語を確実に身につけ、英語の構文になれてくれば、聴く力は、ある日、アッと驚くほど急激に進歩します。聴いてわかる英文は、読めば必ずわかります。LISTENINGとREADINGの力がついてくると、語彙が増え、構文の理解も進みますから、英文を書く力（WRITING）もついてきます。英文を書く速度（retrieval time）を上げていけば、話す力（SPEAKING）に展開します。

つまり、英語の4技能はそういう過程の中で身についていくのだと考えています。同時に、価値ある技術を身につけようとすれば、「継続は力」であり、また、ある1時期は集中的に努力することも必要です。（M）

この教本の構成と使い方

この教本は、茅ケ崎方式英語会准協力校・協力校の年間計画にあわせ、前・後編あわせて、４０ UNITS を１年間（４０週）で終了するように編成してあります。ONE UNIT が１週間分の教材です。各 UNIT は、英語の４技能（**listening, reading, writing, speaking**）を、基本から身につけていけるように、工夫してあります。構成は次のようになっており、毎日１時間、番号の順序で学習し、１週間で終了します。

1. **LISTENING**　（英文の聴き取り）付属の CD を使用
2. **QUESTIONS**　**LISTENING** の内容についての質問
3. **WORD TEST**　**LISTENING** で使用している単語のテスト
4. **WORD TEST の説明**　単語テストの説明と用例
5. **EXERCISE (1)**　**Listening** の内容を chunk に分解したものの組み立て
6. **EXERCISE (2)**　１～５ で学んだことを生かした短い英文の作成
7. 英語の仕組み　英語の構文についての説明と用例
8. **EXERCISE (3)**　英文の構造についての練習問題
9. **PHONICS**　英語の音声についての説明と練習問題。付属ＣＤを使用
10. **READING** と **SHADOWING**　１～９の総合演習
11. 発話練習　当該人物についての簡単な対話の例文

このほか、使用した単語をチェックするための **WORD LIST** と、英語を学ぶために知っておきたい基礎知識「英語ひとくちばなし」①～⑩が組み入れてあります。

1. **LISTENING**
   聴き取りの英文用例は、誰でも知っている人物についての説明文です。語数は、８０語前後から、１００語前後、最終的には１５０語程度まで増えていきます。構文も簡単なものから、やや複雑なものへ進みます。使用されている単語は、日本語化した英語、人名、地名など特殊な固有名詞などを除き、ＢＯＯＫ - ０ 前・後編で**５００語**で、**青色**で印刷されています。付属のＣＤには、Listening の教材が、slow speed と natural speed で吹き込んであります。まず slow speed で３回聴いてください。Listening（聴き取り）は、hearing（聞く、聞こえる）ではなく、注意深く、集中して聴くことです。
2. **QUESTIONS**
   CD を３回聴いて、分かったことを頭の中で整理して（つまり、メモし

ないで)、質問に答えてください。頭の中で思い浮かべて整理することが、大事です。このことが、後々重要な意味を持ってきます。記憶した単語の数が増え、英語の音声に慣れるにつれて、分かる部分が多くなっていきます。

3. **WORD TEST**
LISTENING の用例で使用している単語について、どの程度理解しているかのテストです。(　　) 内に日本語で意味を記入してください。５００語は、４０・ＵＮＩＴＳの中に青字で繰り返し出てきますから、だんだん記憶に残るようになります。
4. **WORD TEST の説明**
WORD TEST の単語についての説明です。**LISTENING** の用例を見ながら、説明を読んでください。(See ～ . は、～を参照の意味です)
5. **EXERCISE**（練習）**(1)**
LISTENING の英文の一部が、chunk（意味のあるひとかたまりの語群、一語のこともある）に分解して、バラバラに並べてあります。これを、日本文を見ながら、WORD の説明を頼りに、英文に組み立てなおしてください。これによって、英語の構文の基本、特に語順を学びます。
6. **EXERCISE**（練習）**(2)**　英文の作成
1. から 5. までで学んだこと、或いは、前のＵＮＩＴまでに学んだことを、総動員して、自分で英文を作成してみます。忘れたところは、復習しながら、取り組んでください。
7. **英語の仕組み**
英語の構文の基本を解説してあります。用例を見て、よく理解してから、次の練習問題をやってください。興味のある人は、ＢＯＯＫ - １の該当する項目の説明も読んでみてください。
8. **EXERCISE**（練習）**(3)**
7. の練習問題です。英語の構文の基礎を身につけます。
9. **PHONICS　EXERCISE (4)**
英語の文字と発音について説明がしてあります。ＣＤのあとについて発音の練習をしてください。文字と発音の間の規則をまとめた PHONICS がわかれば、多くの英語が、発音を聴いて書ける、文字を見て読めるようになります。
10. １～９で学んだことを活かしながら、Listening の問題を、何回も音読してください。英語でも「読書百遍、意おのずから通ず」という真理は通用します。特に大事なのは、単語の強勢（アクセント）と文中でのポーズのおき方（phrasing）です。ＣＤをよく聴いて、真似てください。十分に音読できるようになったら、ＣＤを聴きながら、直ぐ後について、

同じように発声します。文が終わるのを待って続くのではなくて、２～３語後から追いかけるようにします。これを shadowing（影のようについていくこと）といいます。これによって、個々の単語の発音が正確になるだけでなく、ポーズの置き方を知り、リズムやイントネーション（抑揚）をつかむことができるようになります。shadowing ができるようになったら、ＣＤを理解できるところで止めながら、英語で書き取って下さい。（dictation）

11. Listening が力がつき、shadowing をやっていれば、その何分の一かは、必ず、口から出て来るようになるので、とくに発話の練習はしなくてもよいのですが、物足りない人は、質問に答えてみてください。No, I don't. の人はそこで終わりです。

- **WORD LIST の使い方**

どんな言葉でも、すべての基礎は単語です。単語を憶えることなしに、言葉を使うことは出来ません。ＢＯＯＫ - ０では、５００語（前編では２５０語）を、完全に身につけて使用語化を目指します。そのために、Ｗord List を活用します。例えば、answer と言う語について、Word List の番号を頼りに、answer を含む、すべての英文を抜き出し、使用語化出来たかどうかチェックします。５００語の用例を、単語別に音声化したＣＤ [CD-500]（茅ヶ崎方式英語会で販売）を使うと便利です。使用語化出来たと思うものは、蛍光ペンで消して、残りに力を注ぎます。残りがだんだん少なくなっていくと、学習の効率も上がり、大きな力がついていることを実感できます。

- **英語ひとくちばなし**

英語は、日本人にとって学習が難しい言語のひとつです。それはどうしてなのか、困難を克服するには、どういう学習をすればよいのか、など、英語を学ぶ人が知っておく必要のある事柄を、やさしく解説しています。また、⑩ UNIT36 では、外国語を教え、学ぶ際の基本的な８原則を解説しています。

著 者

写真左から

鈴木　恵　茅ケ崎方式英語教本 BOOK-2 協力者。茅ケ崎方式英語会教材作成者。茅ケ崎方式英語会鎌倉教室講師

久保田尭子　茅ケ崎方式英語教本 BOOK-2 協力者。茅ケ崎方式英語会教材作成者。茅ケ崎方式英語会鎌倉教室講師

小室　澄子　茅ケ崎方式英語教本 BOOK-2 協力者。茅ケ崎方式英語会教材作成者。茅ケ崎方式英語会茅ケ崎教室講師。Book-0 著者代表

越村美智子　茅ケ崎方式英語教本 BOOK-2 協力者。茅ケ崎方式英語会教材作成者。茅ケ崎方式英語会茅ケ崎教室元講師

脇田　敬子　茅ケ崎方式英語教本 BOOK-1 協力者。茅ケ崎方式英語会教材作成者。茅ケ崎方式英語会茅ケ崎教室元講師

監 修 者

松山　薫

茅ケ崎方式英語会創設者、元 NHK 国際局記者
著書：「国際英語基本 4,000 語」「茅ケ崎方式英語教本 1, 2, 3, 4, 5」

英文校閲者

John Christopher Lynch
ロンドン、ニューヨーク、北京他で勤務の後、1990 年より NHK Radio japan、衛星放送などで記者、アナウンサーを勤める。

英文校閲者

Simon Siddall
茅ケ崎方式対話クラス講師
ニューカッスル大学数学科専攻卒業。

CD 吹込み者

Kimberly Forsythe
ヴァージニア大学卒業、1990 年来日、NHK bilingual News、ラジオ英会話、Nikkei Satellite News、Asahi News 他のアナウンス担当